

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 ① 火災や地震等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法について新規職員の入職もあり全職員が身につけることができていない。 ② 災害時の物資等の準備が整っておらず、急な災害が発生したときに、施設関係者、近隣住民の支援を行うにあたり不十分と思われる。	①について 年間を通し、総合訓練を消防署からの協力を得、継続し行う。訓練後は、細かな注意点を指導していただきながら入居者様、職員が適切に誘導・連絡・報告を行う事ができるようになる。 ②について 法人との協議を重ね、必要な物資(日用品・食料・その他の防災グッズ等)を3日分から5日分に変更し準備できるようにする。	①-1 総合訓練(通報・消火・避難)の実施。 年2回を基本とし、日中・夜間の想定にて全職員が参加し利用者様の安全確保を行う技術を身につける。 ①-2 総合訓練の他に、水害や台風等の被害時なども想定し訓練の中に取り入れていく。 ①-3 緊急連絡網の確認。 職員の配置に変更があった場合、携帯電話の番号に変更が無いかを毎月、行われるミーティングにて確認する。必要時は連絡網の再作成を行い職員、法人に提出。また、変更がある場合は職員からの申し出があるように指導していく。 ②-1 防災用備蓄品一覧の作成。 入居者数・職員数・地域住民の人数確認を行い5日分を想定し予算を計上。購入につなげる。 ②-2 防災倉庫の購入にて備品を保管。定期的に物品の入れ替えを行う。(特に、食品に関しては賞味期限を確認し定期的に入れ替える)	3ヶ月

2		<p>入浴について ユニットごと、週ごとに午前・午後とを入れ替え提供しているが利用者のそれぞれの希望やその人のペース、生活スタイルに配慮し日程や時間帯に配慮し柔軟に対応しているか？</p>	<p>① 利用者様の意向を確認しながら「入浴」を楽しく不安なく行えるように勧める。 ② 入浴の拒否が強い利用者様に対しても違和感無く入浴できる環境を整える。</p>	<p>①-1 入浴の案内を行い本人の意向を確認する。時間に余裕を持たせ慌てず、急がせることなく馴染みのある職員との交流を深めることも考慮し支援に当たる。 ①-2 入浴の順番に関しては、週ごとや午前・午後ではなく月ごとに変更し利用者様に意見を頂きながら、不安なく入浴できる環境を作る。 ②-1 浴室の環境整備。(整理・整頓を行い、観賞用の花を置きし入浴中に利用者様に楽しんで頂くことや援助者である職員との会話の時間を確保する) * 入浴拒否が聞かれる利用者様には、本人の興味あるもの(花)を置いて自然に浴室に向うことができるようにする。</p>	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。